

GIFU KENSEI NEWS

岐阜県議会議員 国枝慎太郎
岐阜県政ニュース

令和5年 第3回岐阜県議会定例会

一般質問に登壇

- 1 野菜の施設栽培における新規就農者支援の現状と今後の戦略
- 2 有機農業の推進
- 3 揖斐川町春日川合地内における治山対策
- 4 県内における「闇バイト」対策

所属委員会等

企画経済委員会委員長
社会経済活力創出対策特別委員会

新しい議場から見える景色

改選後はじめてとなる令和5年度岐阜県議会6月定例会が開会され、私は一年ぶりに一般質問に登壇させていただきました。(昨年度は監査委員であった為)新議場において、はじめての登壇でもあり、大変緊張もしましたが壇上から見える景色も変わりました。当然ながら改選後ということもあり、新人議員さんのフレッシュな顔ぶれに加え女性議員が増えた(6/46人)景色。また議場がバリアフリー化されたことにより、広がった議員席の景色。

そして記者席は後ろになり傍聴席も広がった景色。

その他にも新議会棟にはエレベーターが設置されたり、手話通訳者のモニターも設置されました。障がいのある方にもない方にも傍聴しやすい環境となりました。さらには、ベビーカーの貸し出しやベビーベッドが設置された個室(防音室)における親子傍聴席も設置されました。是非、皆さまも議場へ傍聴にお越しください。



※親子傍聴席

岐阜県議会議員
国枝 慎太郎

国枝しんたろうは
岐阜県と揖斐郡の為に
走ります。

池田町

歩行者・自転車が安心して 利用できる三町大橋へ

(一) 池田・神戸線の歩道整備の促進と共に、 三町大橋西側(池田町・揖斐川町側) における安全確保対策



三町大橋西側から(一)池田・神戸線へのアクセスが歩行者や池田高校に自転車を通学する皆さまにとって、堤防道路の横断等を含め安全性を危惧する声を地元の皆さまからいただきました。

そこで、県警・岐阜県・池田町・地域の皆さまと共に自転車を利用して現地調査を実施いたしました。

今後この調査をもとに、(一)池田・神戸線の歩道整備の促進と共に、三町大橋西側周辺における安全確保対策を一体的に取り組んでいく所存です。



© 揖斐川町 R2/9 撮影

大野町

揖斐郡の東ゲートウェイの整備 (主)岐阜県南大野線の整備促進

大野・神戸インター周辺へのアクセス道路でもある(都)大垣・神戸・大野線(主)岐阜県南大野線の道路整備促進に向け、岐阜県揖斐土木事務所長に対し、(主)岐阜県南大野線の整備に関する協議会の皆さまと共に要望活動を実施いたしました。



要望内容

- ① 下磯工区の早期完成
- ② 上磯地内の幅員狭小・線形不良区間の解消(事業着手)
- ③ 五之里交差点の改良(事業着手)

岐阜県南大野線の整備に関する協議会 要望位置図



岐阜で働こう



●企画経済委員会委員長に就任

県内企業の人材確保対策

岐阜駅拠点リニューアルオープン記念行事へ県議会企画経済委員会 委員長として出席をさせていただきました。これまで岐阜県では岐阜県総合人材チャレンジセンター通称：ジンチャレ！を中核に県内企業の魅力発信や、若者の県内就職促進に取り組んできましたが、県内企業の人材不足は年々深刻化しています。その原因のひとつが、県外への進学や就職を契機とした若者の県外流出です。そこで岐阜県では、県外への通勤・通学者が多く往来する JR 岐阜駅の立地を活かし、駅直結のジンチャレ！をリニューアルして、Uターン就職・転職の支援を充実・強化することとしました。是非、県内企業の皆さまご活用ください。



jinchare.jinzai-gifu.jp

岐阜県総合人材チャレンジセンター(通称：ジンチャレ)



野菜の施設栽培における新規就農者支援の現状と今後の戦略

農政部長に質問

近年の物価高騰の影響により、本県の食料生産を支える施設野菜栽培におけるハウス建設費用なども高騰しており、特に、多額の初期投資が必要となる新規就農者の負担も増していると感じますが、野菜の施設栽培における本県の新規就農者支援の現状と今後の戦略について質問しました。

農政部長（主な答弁）

県内19の就農研修拠点で新規就農者の育成をしておりますが、物価高騰によるハウス資材の初期投資額がかさみ負担となっております。そこでハウス環境制御システムを見直す事や資材コストを削減したシステムを開発し普及を図ってきました。また、サポートチームによる技術と経営面での伴走支援を進め、中古ハウスの利活用等新規就農者の負担が軽減できる支援策を検討し、収益性の向上につなげていきます。

有機農業の推進

皆さんは、国の「有機 JAS 認証」のロゴマーク、岐阜県が独自に認証している岐阜県の「清流 GAP」のロゴマーク。そしてぎふ清流 GAP 化学肥料・化学合成農薬不使用のロゴマーク「ぎふグリーンハーベスト」のロゴマークをご存知でしょうか？



農政部長に質問

「岐阜県有機農業推進計画」を推進していく中で、県では、どのように有機農業を拡大していけるのか、また、有機農業で生産された農産物の販路拡大に向け、どのような支援を行っていくのか質問しました。

農政部長（主な答弁）

有機農業に参入しやすくするために、経験や知識を有する有機農業者をアドバイザーとして認定し、技術指導や相談体制を強化していきます。また、有機農業の拡大に向け、プロジェクトチームを設置し営農モデルづくりや産地化に取り組んでいきます。次に販路拡大では有機農業のセミナーや生産者が直に販売できるオーガニックマルシェを開催し、ぎふ清流 GAP パートナーと連携した販売フェアを開催していきます。

県内における「闇バイト」対策

①「闇バイト」対策の現状と今後の取組みについて 県警本部長に質問

「闇バイト」に関連する犯罪が凶悪化・広域化している現状がある中で、県民の皆さまが被害者・加害者にならないために、県警における闇バイト対策の現状と、今後、どのように対策を行っていくのか質問しました。

県警本部長（主な答弁）

闇バイト対策として SNS やインターネット上をサイバーパトロールで監視し、有害な投稿に対してはプロバイダー事業者に削除の依頼をするとともに閲覧者に対しては警告メッセージを発送し削除させています。また、闇バイトに応募しやすい若者や保護者を対象に関係機関、団体と連携し闇バイト防止の啓発活動を積極的に行っています。

②県立学校における情報モラル教育について 教育長に質問

「闇バイト」に関連し、複雑化・巧妙化する犯罪に対して県立学校において、現状どのような情報モラル教育が行われており、今後、どのような取組を行っていくのか質問しました。

教育長（主な答弁）

県立高校では、通信業者や警察官等の外部講師を招き、ネット社会の危険性についての学習をする機会を現在設けております。さらに、県教育委員会では、作成した啓発資料を、県立学校へ配布し、今月から、学校緊急連絡メールを利用して、生徒、保護者宛てに直接配布することで、各家庭で情報モラルについて話を進めていただくようにしてまいります。

③「ネット安全・安心ぎふコンソーシアム」における今後の取組について 環境生活部長に質問

昨今の社会情勢を踏まえると、「ネット安全・安心ぎふコンソーシアム」の機能強化が必要と考えますが、今後、関係機関の連携による啓発活動などの取組をどのように進められるお考えか、質問しました。

環境生活部長（主な答弁）

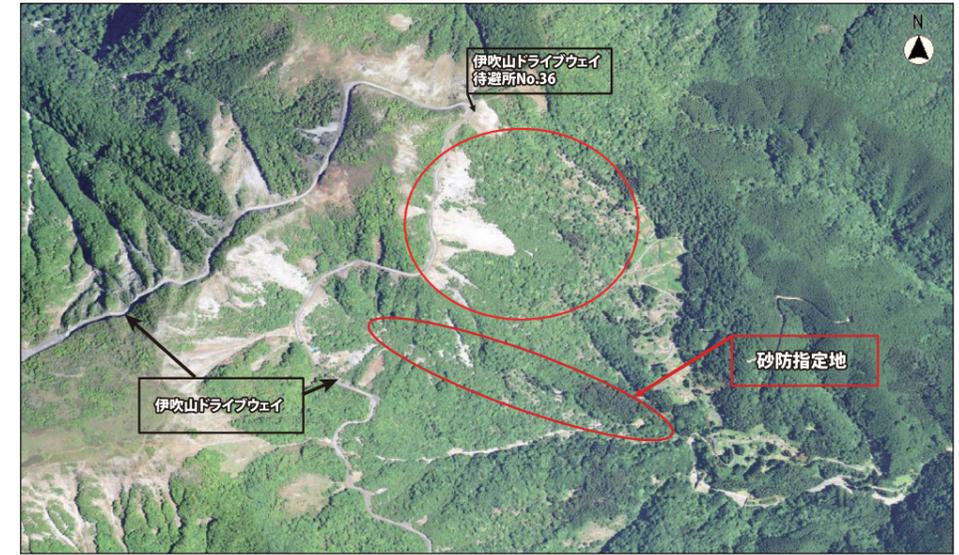
ネット安全・安心ぎふコンソーシアムでは保護者向けリーフレットの配布や情報モラルの講座の実施など青少年の適切なインターネットの利用促進に取り組んでいますが、今年から「啓発強化月間」を定め、闇バイト対策や SNS によるいじめや誹謗中傷などの防止に広報・啓発を集中的に実施していきます。さらに、保護者や教職員、関係機関等を対象としたフォーラムを年内に開催し、重点課題に関する講演や事例発表などを通じて認識を深め、県民が一体となった取組を進めてまいります。

揖斐川町 春日川合地内における 治山対策



今年の4月、笹又エリアの活性化に取り組む皆さまと山の荒廃状況や被災状況を視察するため、笹又エリアから伊吹山ドライブウェイまで登山をいたしました。

今年6月には、国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所の方々に現地を視察していただき、町・県・国との連携においての対応を要望いたしました。



この衛星画像から見ても、伊吹山ドライブウェイの下流部には樹木もなく、草すら生えていない急斜面が多くあり、木が生えている場所のほとんどが鹿の食害によって、樹木も腐りかけており、草さえ生えていない箇所が広がっております。

林政部長に質問

岐阜県を代表する伊吹山麓が育む葉草の一大産地、伝統野菜の宝庫でもある揖斐川町春日川合地内の治山対策について、今後どのように進めていくのか質問しました。

林政部長（主な答弁）

令和3年9月の豪雨で発生した揖斐川町春日川合地内の土砂流出では、直下に農道や畑があるため、県民の生命、財産を守ることを最優先に、治山ダム等の整備に着手し、来年度完成の予定です。今後は、更なる土砂流出を抑制するため、上流部の荒廃地を植林などによって森林に復元する対策が必要であると考えております。しかし、急峻な山岳地に加えて鹿の食害により裸地の状態が続き、降雨や融雪によって表面侵食が進行しており、対策に時間を要し、難工事が想定されます。このため学識経験者、地元関係者からなる対策協議会を立ち上げ国の事業採択に必要な実施計画を策定してまいります。



ご存じですか？
春日にあるアート作品
「五人の女神」壁画

さざれ石公園内には、東京芸術大学の学長であり、岐阜県立美術館館長でもある日比野克彦さんが、1988年に砂防堰堤壁面に描いた5人の女神という壁画の作品もあります。また、日比野克彦さんは令和6年度に岐阜県で開催する「清流の国ぎふ」文化祭2024（第39回国文化祭）及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」の総合プロデューサーも務めていただいております。



そこで岡部揖斐川町長と共に日比野克彦さんとリモートにて面談し、壁画の修復方法や今後の活用方法、さらにはアート（芸術）とまちづくりについて等、幅広く意見交換をさせていただきました。